

令和元年5月 北秋田市長記者会見

令和元年5月31日（金）午前11時30分

市役所本庁舎 大会議室

1. 令和元年北秋田市議会6月定例会について・・・資料1
2. きたあきた子育てにこにこクーポン事業について・・・資料2
3. 北朝鮮向けラジオ放送「ふるさとの風」と「しおかぜ」の
共同公開収録の開催について・・・資料3
4. チャレンジデー2019の結果について

その他

- ・6月の行事予定

1. 令和元年北秋田市議会 6 月定例会について

本日、令和元年北秋田市議会 6 月定例会を 6 月 13 日に招集することといたしました。

今定例会には、「北秋田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」をはじめとする条例案が 2 件、補正予算案関係が 10 件、財産の取得についての単行議案が 2 件、報告 3 件の計 17 件の提案を行うことといたしております。

概要につきましては、さきほど行われました議会運営委員会において総務部長から説明をさせておりますが、特に一般会計補正予算案について説明させていただきますと、既定の予算の総額に 1 億 2, 784 万 7 千円を追加して、予算の総額を 240 億 9, 934 万 5 千円とすることとしたものであります。

6 月補正予算の主な歳出といたしましては、いずれも新規事業となりますが、

- 【新規事業】プレミアム付商品券事業として、
62,835 千円
- 【新規事業】緊急風しん抗体検査等事業として、
4,791 千円
- 【新規事業】都市と山村の友好の森事業として、
2,750 千円

を計上いたしております。

2. きたあきた子育てにこにこクーポン事業について

当市では、平成 30 年度から実施しております秋田県との共同による子育てファミリー支援事業に加え、今年 7 月から市独自事業となる「きたあきた子育てにこにこクーポン事業」を行いますのでお知らせいたします。

これまでの事業は、第 3 子以降のお子さんが生まれた世帯を対象に 1 万 5 千円分のクーポン券を発行するというものでしたが、この新たな事業によって今年 4 月以降に第 2 子が生まれた世帯も対象となりますので、より多くの子育て世帯において経済的な負担が軽減されるものと考えております。

対象世帯へのご案内は 7 月頃を予定しておりますが、それと併せまして、クーポン券を使用できる取扱加盟店の募集も行っておりますが、事業の名称を「第 2 子」と「にこにこ」をかけて馴染みやすいようにしておりますので、幅広く活用されるよう皆様からも P R をよろしく願いいたします。

<参考>

事業名	きたあきた子育てにこにこクーポン事業	北秋田市子育てファミリー支援事業
対象世帯	平成 31 年 4 月 2 日以降に第 2 子の子が生まれ、かつ、その子を含む 2 人以上の子を養育している者	平成 30 年 4 月 2 日以降に第 3 子以降の子が生まれ、かつ、その子を含む 3 人以上の子を養育している者
交付数量	単年度につき 1 セット 1 万 5 千円分 (500 円×30 枚)	
使用方法	加盟施設が実施する一時預かり事業の利用代金の支払い及び加盟店が取り扱う紙おむつ、乳児用ミルクの購入に使用。	

3. 北朝鮮向けラジオ放送「ふるさとの風」と「しおかぜ」の 共同公開収録の開催について

6月30日日曜日午後2時から、北秋田市文化会館におきまして、北朝鮮向けラジオ放送「ふるさとの風」と「しおかぜ」の共同公開収録を開催しますのでお知らせいたします。

当日は、特定失踪者のご家族が登壇してメッセージを収録するほか、拉致問題の解決を願ひまして、北鷹高校吹奏楽部、合川小学校有志の会の子供たちと一緒に地元コーラスグループの コールつくしんぼ が参加予定でありますミニコンサートも行われ、来場者の皆様とともに唱歌の収録も行うこととなっております。

また、ロビーでは、ラジオ番組「ふるさとの風」の収録ブースを設置して、激励メッセージを収録することができ、後日、イベントの様子と併せまして、北朝鮮向けに放送されることとなります。

拉致問題に関しましては、政府認定被害者以外にも北朝鮮による拉致の可能性のある失踪者がおります。

秋田県関係では、1992年に当時の合川町の自宅を出たまま、行方が分からなくなっている 松橋 恵美子さん（当時 26 歳）をはじめ、5名の方にその可能性があります。

このたびのイベントは、拉致問題の世論啓発を図るとともに、一刻も早い問題解決に繋がることを願って開催するものでありますので、ぜひ、多くの皆様にご参加いただきたいと思っております。

4. チャレンジデー2019の結果について

5月29日水曜日に行われましたチャレンジデー2019では、多くの市民の皆様にご参加いただき、ありがとうございます。

参加率は、北秋田市が62.6%、今回の対戦相手であります愛知県扶桑町が73.4%でありまして、残念ながら勝利は叶いませんでしたが、5年連続の金メダルを手にすることができたのは、市民の皆様、自治会・町内会、そして各事業所等の皆様のご協力があったことでもありますので、ここに心より感謝とお礼を申し上げます。

また、目標としていました参加率65%を上回ることができませんでしたが、チャレンジデーを契機といたしまして、市民の皆様には、ぜひ日常生活に運動を取り入れていただき、今、秋田県が取り組みを推進しております健康寿命日本一に向けて、心と体の健康をこころがけていただきたいと思います。

当市では、市民の皆様の健康増進と、元気なまちづくりを目指しまして、来年以降もチャレンジデーに参加したいと考えておりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

<参考>

	北秋田市	扶桑町	北秋田市（昨年度）
人口	32,216人	34,777人	32,792人
参加人数	20,174人	25,515人	20,652人
参加率	62.6%	73.4%	63.0%